

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

**※**

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
  - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製できており、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
  - ・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
  - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
  - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
  - 熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
  - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- T-14、18をデッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の箇所に床板補強材を組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>


**注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

## <施工上のご注意>つづき

### 注意

- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

## 梱包明細表

### 【1】支柱セット・ベース仕様

名称	略図	員数
支柱（ベース仕様）		1
柱下側スリーブ材		1
柱キャップ		1
【1-1】φ4×20サラタッピン3種		6
【1-2】φ5×40ナベタッピン2種G=5		4
【1-3】φ4×16サラドリルネジ		2

### 【2】支柱セット・埋込仕様

名称	略図	員数
埋込用支柱		1
埋込用柱キャップ		1

### 【3】埋込用コーナー柱セット

名称	略図	員数
コーナー柱（埋込仕様）		1
コーナー柱化粧材		1
【3-1】φ4×35サラドリルネジ		4

### 【4】ベースプレートセット

名称	略図	員数		
		大引き 固定用	床板補強材 固定用	床板 固定用
ベースプレート		1	1	1
フェンス-大引き固定アングル		2	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—
【4-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	6	5
【4-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2

【5】桁セット

名 称	略 図	員 数	
		1スパン	2スパン
桁		1	1
取扱説明書<UE057>	—	1	—
取付説明書<E206>	—	1	—

【6】桁連結金具セット

名 称	略 図	員 数
桁取付金具		1
桁取付金具キャップ		1
桁受け金具		1
【6-1】φ4×25ナベドリルネジ		2
【6-2】φ4×19ナベドリルネジ		4
【6-3】φ4×20サラタッピン2種 D=6 G=5		2
【6-4】φ4×16サラタッピン1種		1
【6-5】φ4×13ナベドリルネジ ※ハイパーティションには使用しません。		2

【7】上下棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
下棧		1
下棧受け部品		2
ゲージプレートE		1
修正用研磨紙A		1
クッション材		6
【7-1】φ4×30ナベドリルネジ		4
【7-2】φ5×25ナベタッピン3種		2
【7-3】φ4×25ナベドリルネジ		4
取扱説明書<UE057>	—	1
取付説明書<E205>	—	1

【8】切詰用上下棧取付金具セット

名 称	略 図	員 数
上棧受け金具		2
下棧受け部品		2
【8-1】φ4×13サラドリルネジ		2
【8-2】φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		4
【8-3】φ4×30ナベドリルネジ		4
【8-4】φ5×25ナベタッピン3種		2
【8-5】φ4×25ナベドリルネジ		4

【9】上棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
ゲージプレートC		1
修正用研磨紙A		1
【9-1】φ4×25ナベドリルネジ		4
取扱説明書<UE057>	—	1
取付説明書<E205>	—	1

【10】中棧セット

名 称	略 図	員 数	
		横ビーム パネル用	フライバー パネル用
中棧(上段ビームパネル)		1	—
中棧		—	1
【10-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		4	4

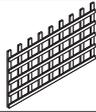
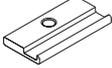
【11】ラチスパネルセット(細目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス栈固定金具		—	4
【11-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
【11-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	4
【11-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	2
【11-4】M4六角袋ナット		—	4
【11-5】M4平座金		—	8

【12】ラチスパネルセット(粗目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス栈固定金具		—	4
【12-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
【12-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	4
【12-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	2
【12-4】M4六角袋ナット		—	4
【12-5】M4平座金		—	8

【13】井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数		
		T-08,T12	T-06,T-10,T14	T-18
井桁格子パネル		1	1	1
格子パネル振れ止め		2	—	—
ラチス栈固定金具		—	—	4
【13-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	—	8
【13-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	—	4
【13-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	—	2
【13-4】M4六角袋ナット		—	—	4
【13-5】M4平座金		—	—	8

【14】横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数		
		H400	T-08	T-10
ビーム棧		2	2	3
下段用ビーム棧		—	1	1
ビーム棧枠材		2	2	2
ビーム棧枠材受け金具		—	2	2
クッション材		2	2	2
【14-1】φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	6	8
【14-2】φ4×19ナベドリルネジ		—	2	2
【14-3】φ4×30ナベドリルネジ		4	4	4

【15】クロスパネルセット

名 称	略 図	員 数
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2
【15-1】φ5×30トラスタッピン3種		4
【15-2】φ4×30サラドリルネジD=6		4
【15-3】M4×45トラス小ネジ		1
【15-4】M5六角袋ナット		4
【15-5】M5平座金		8
【15-6】M5バネ座金		4
【15-7】M4六角袋ナット		1
【15-8】M4平座金		2
【15-9】M4バネ座金		1

【16】プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		H600以下	T-08以上
ポリカパネル上乘せ		1	—
ポリカパネル		—	1

【17】LED照明ユニット

オプション

名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
【17-1】φ4×13ナベドリルネジ		2
【17-2】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
【17-3】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
取付説明書〈Z217〉	—	1
取扱説明書〈UC015〉	—	1

※生地色は、配線カバーがシャイングレーの場合に使用します。  
 ※ブロンズ色は、配線カバーがマイルドブラック、オータムブラウンの場合に使用します。

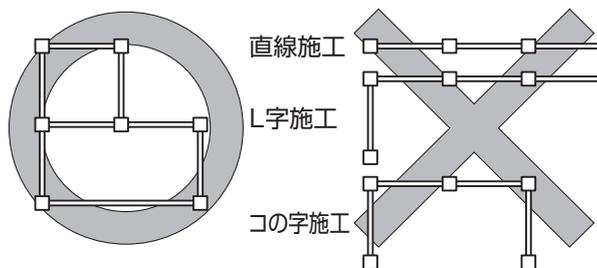
## ハイパーティション取説区分表

※フェンスの施工手順は上下棧セット、上棧セットに同梱されている取付説明書を確認してください。

フェンスの施工手順	使用する取付説明書	取説コード
パネルの取付け パネルの幅切詰め 下棧LED照明ユニットの取付け	・ 樹の木皿 ウッドパーティション	E205

## 1. 施工時の重要注意項目

### 1-1 ベース仕様



施工可能例

図1-1 施工不可例

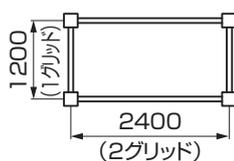


図1-2

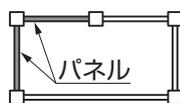


図1-3

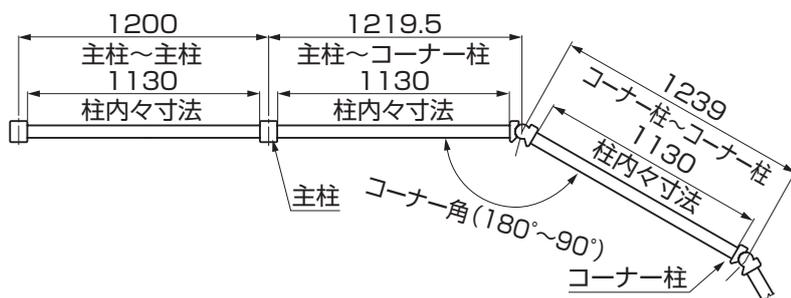
#### ⚠ 注意

- 「直線」、「L字」「コの字」の施工はしないでください。必ず枠状に組むように施工してください。(図1-1参照)
- 枠の許容最大寸法(1グリッド×2グリッド)を守ってください。(図1-2参照)
- ベース仕様の場合はL字2面方向に必ずパネルを取付けてください。(図1-3参照)
- 間違った施工をしてしまいますと強度不足による事故の恐れがあります。

#### ✎ 補足

- 1グリッドは1200mm×1200mmです。(図1-2参照)

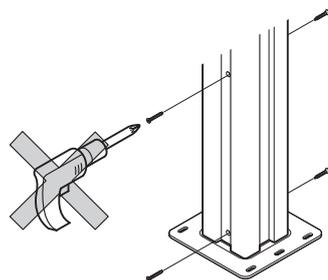
### 1-2 埋込仕様



#### ✎ 補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°~90°です。

### 1-3 人工木の組付け時の注意

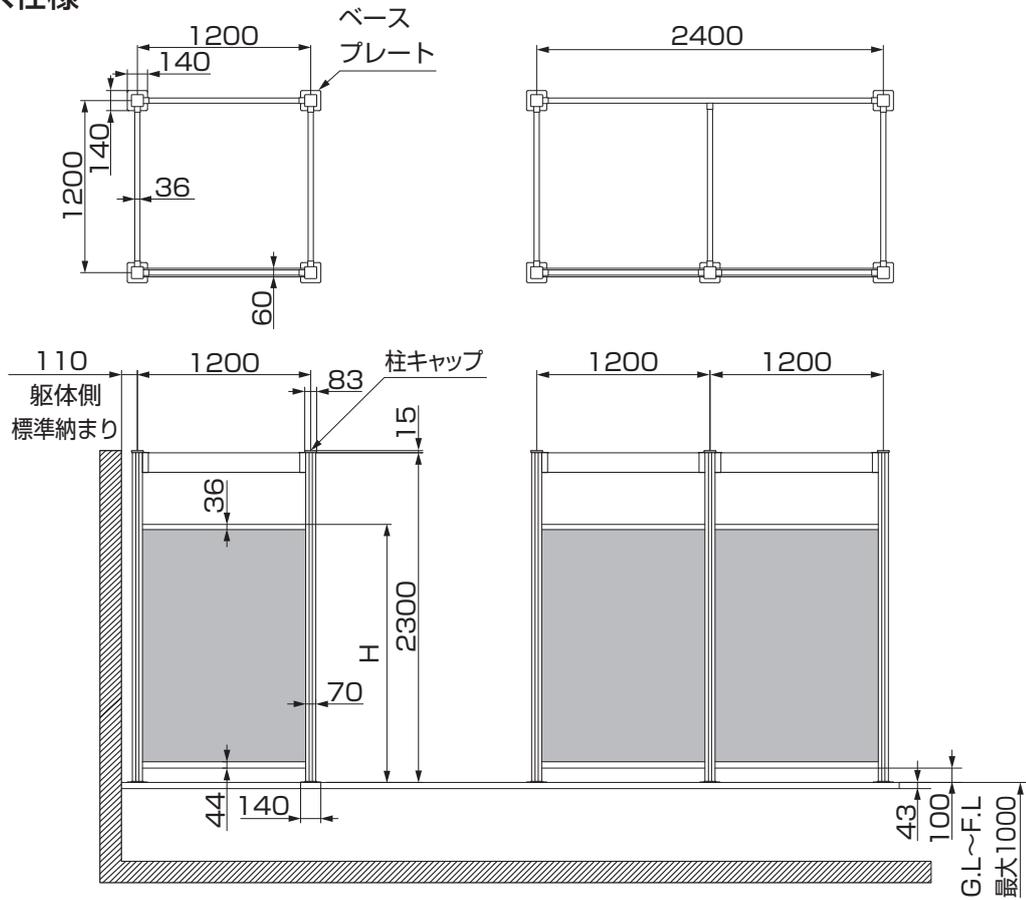


#### 🔑 ポイント

- 人工木の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

## 2. 基本寸法図

### 2-1 ベース仕様



### 2-2 埋込仕様

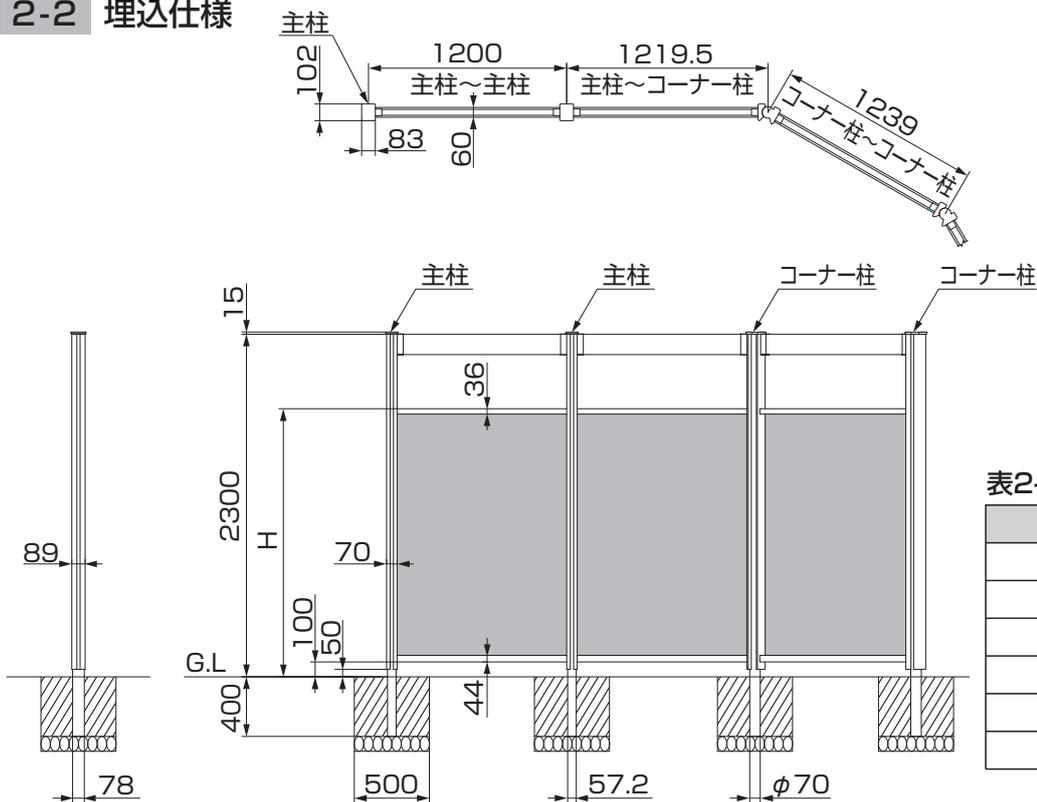
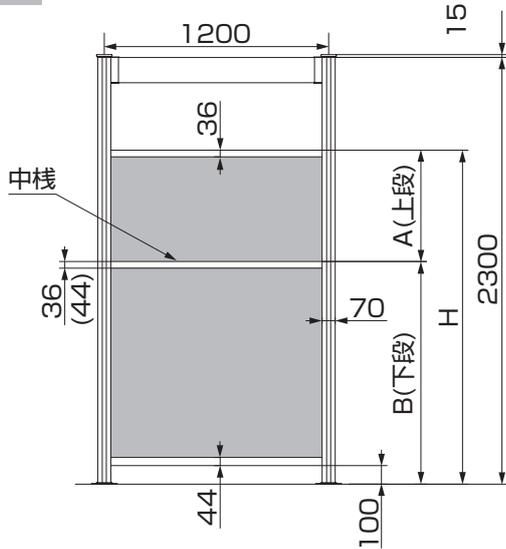


表2-1、表2-2

呼称	H寸法
T- 6	600
T- 8	800
T-10	1000
T-12	1200
T-14	1400
T-18	1800

## 2. つづき

### 2-3 2段フェンス仕様



#### 補足

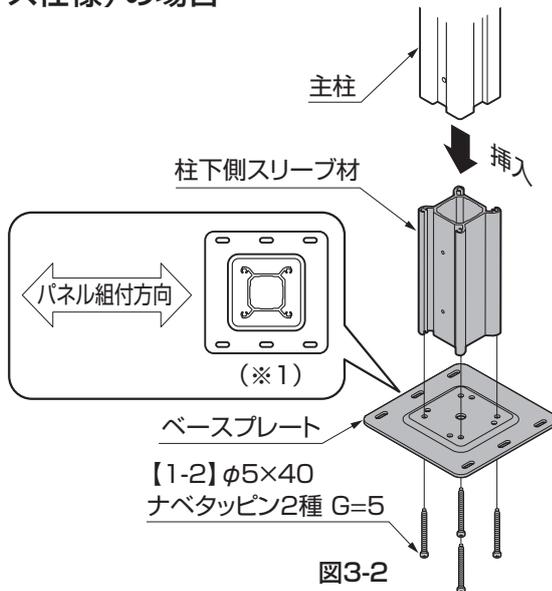
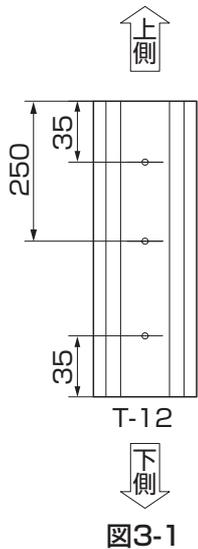
● ( ) 寸法は上段プライバシーの場合です。

表2-3

呼称	A寸法	B寸法	H寸法
T-12	400(ビームパネル)	800	1200
	400(プライバシーパネル)		
(T06-06)	600(プライバシーパネル)	600	
T-14	400(ビームパネル)	1000	1400
	400(プライバシーパネル)		
(T06-08)	600(プライバシーパネル)	800	
T-18	400(ビームパネル)	1400	1800
	400(プライバシーパネル)		
(T06-12)	600(プライバシーパネル)	1200	

## 3. 柱の準備

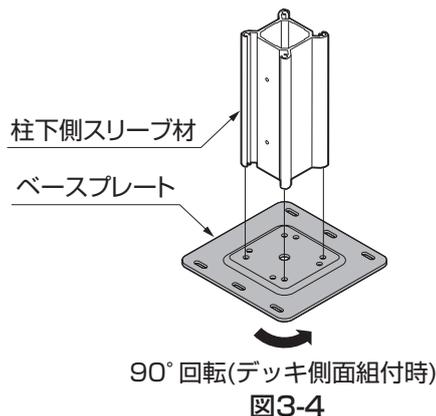
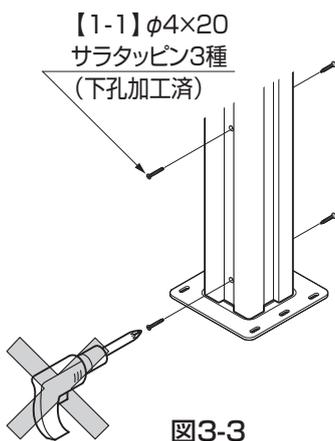
### 3-1 主柱 (ベース仕様) の場合



#### 補足

- 柱には上下の区別があります。
- T-12柱スリーブ材には上下の区別があります。(図3-1参照)

- ① ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、【1-2】で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)
- ② 主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-2参照)
- ③ 主柱の孔位置から【1-1】で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。



#### ポイント

- 主柱の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。
- デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-4参照)

## 4. 柱の組付け

### 4-1 ベース柱

#### (1) 正面床板固定の場合

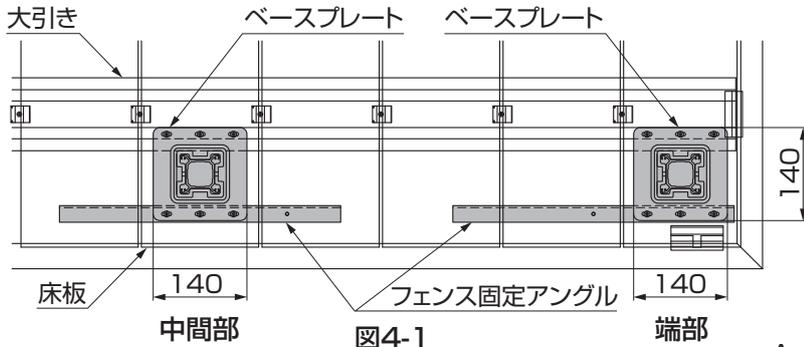
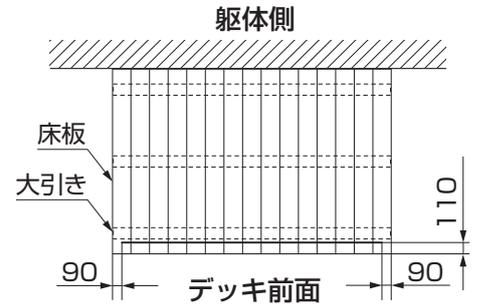


図4-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図4-2

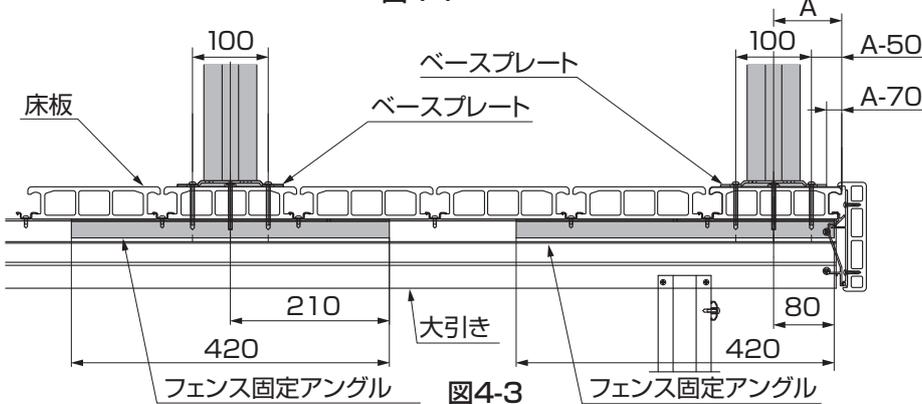


図4-3

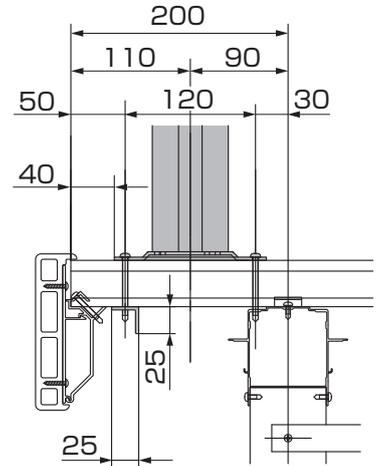


図4-4

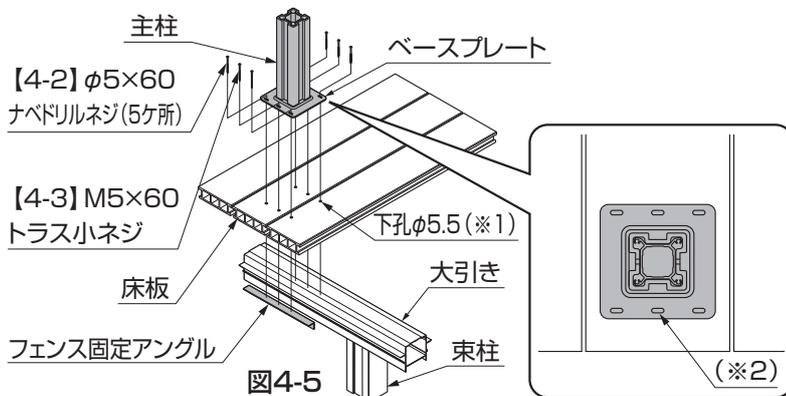
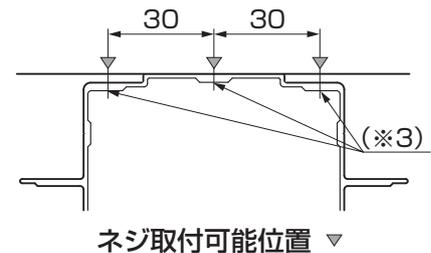


図4-5



ネジ取付可能位置 ▼

図4-6

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。
- 図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

#### 注意

- 大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所(※3)以外に取付けしないでください。

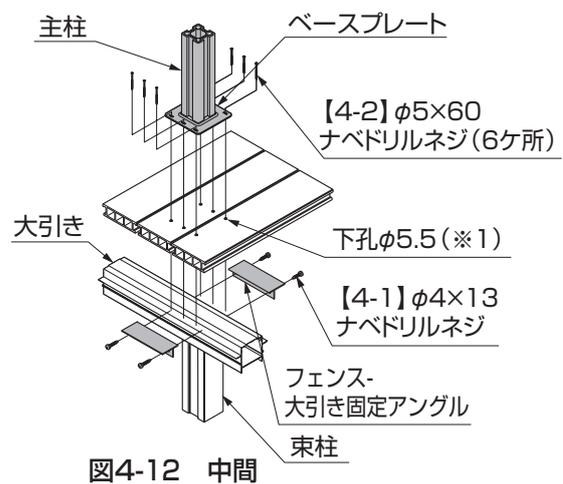
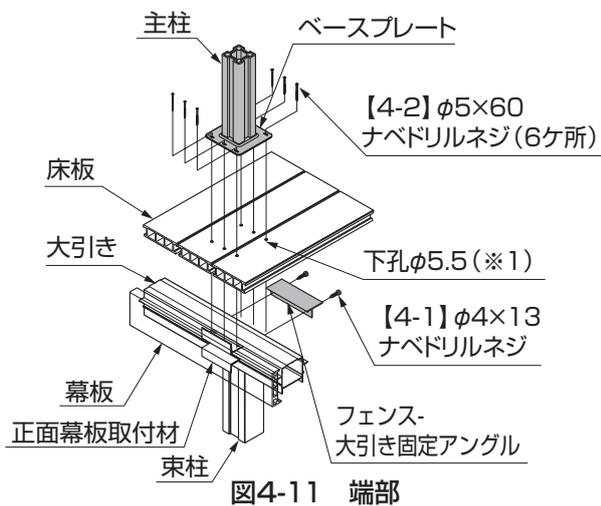
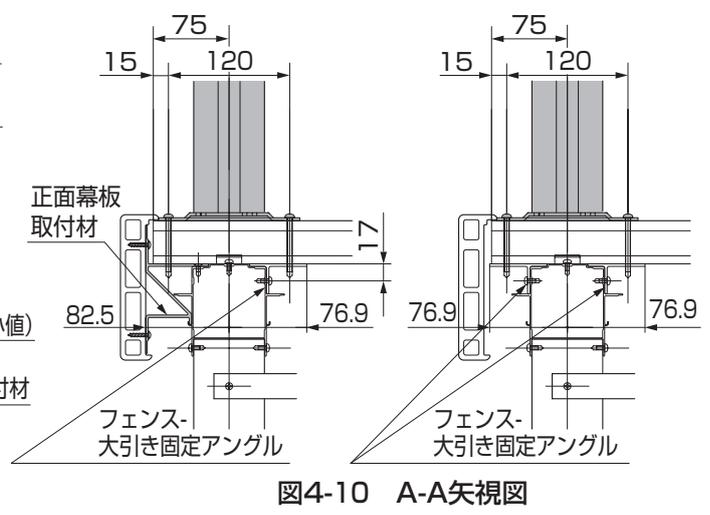
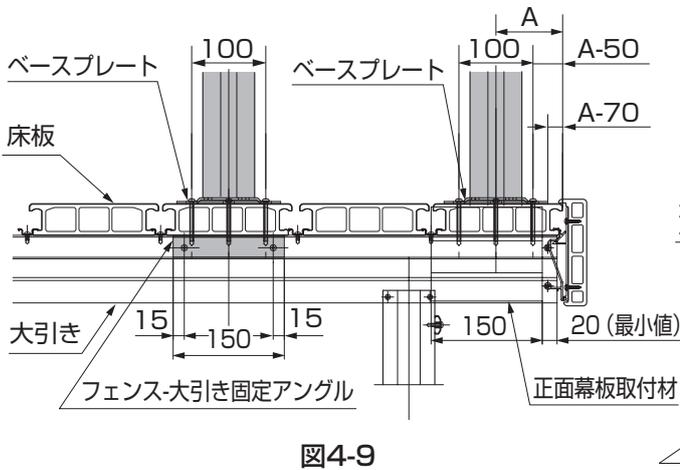
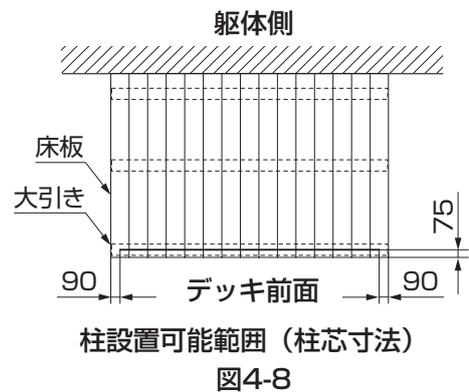
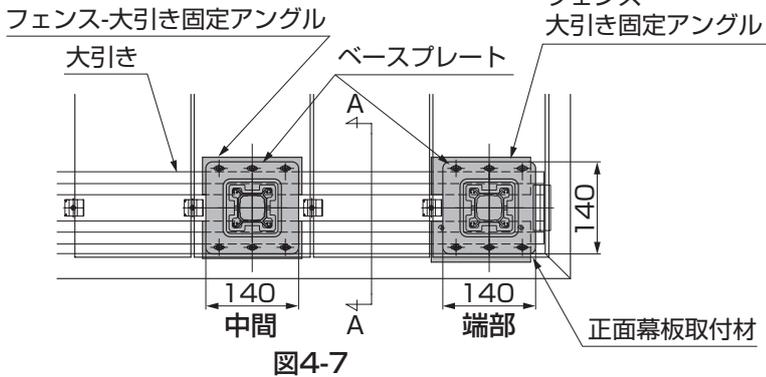
④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で取付けてください。(※2)

⑥【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

## 4. つづき

### (2) 正面大引き固定の場合



①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-7、図4-8、図4-9、図4-10を参照して取付けてください。
- 図4-9のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

- ②ネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。（※1）
- ④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【4-1】で取付けてください。
- ⑤ベースプレートを【4-2】で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

## 4. つづき

### (3) 側面床板固定の場合

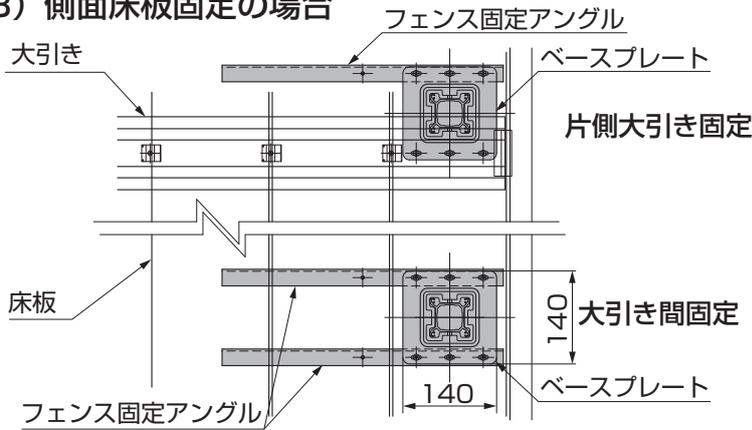


図4-13

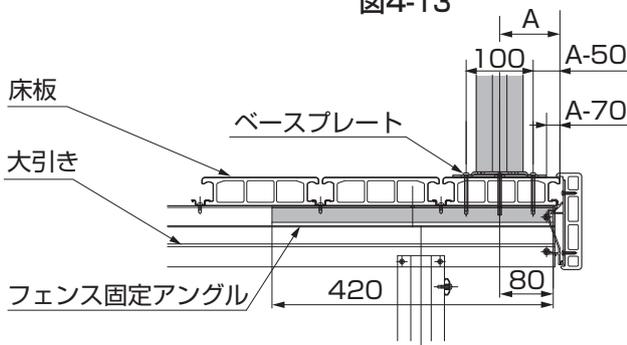


図4-15

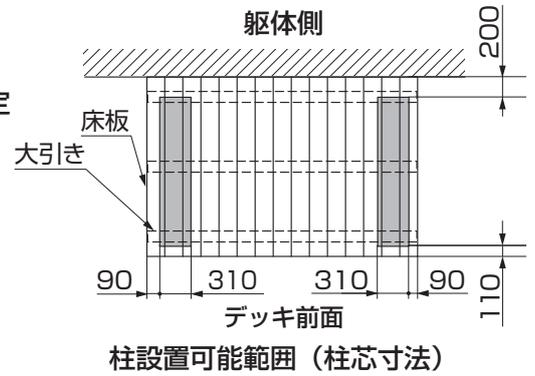


図4-14

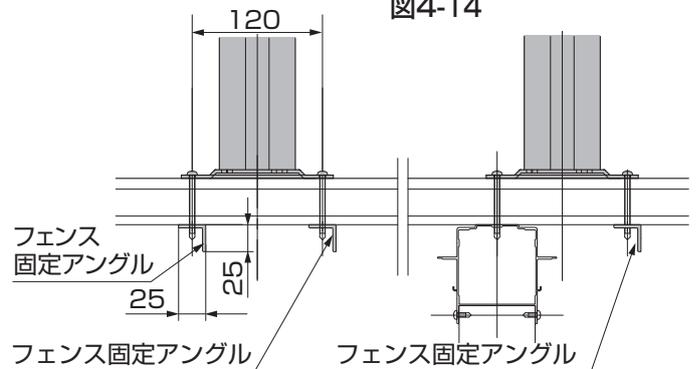


図4-16

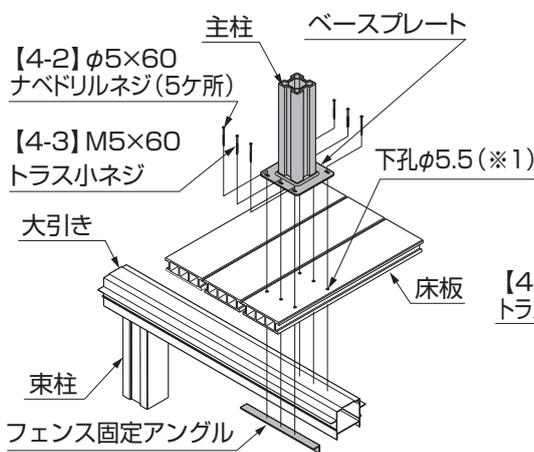


図4-17 片側大引き固定

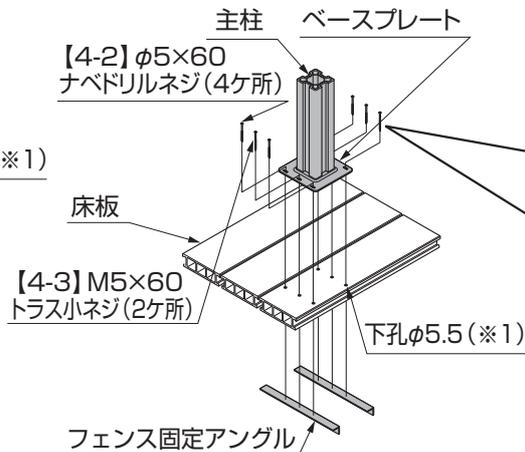


図4-18 大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- 片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。
- 図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱 (1) 正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートを【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

## 4. つづき

### (4) 側面床板補強材固定の場合

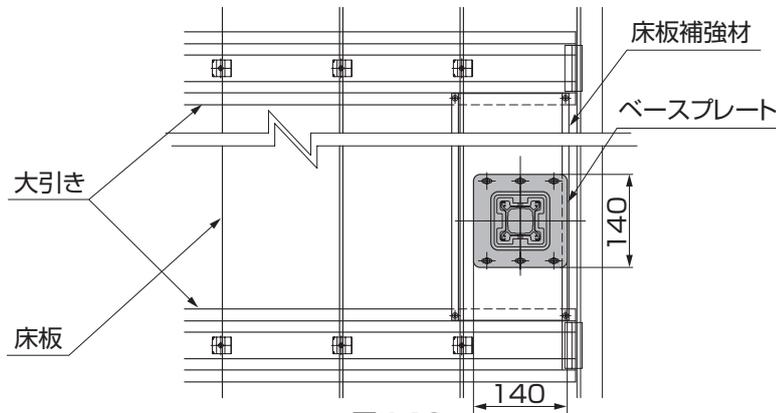


図4-19

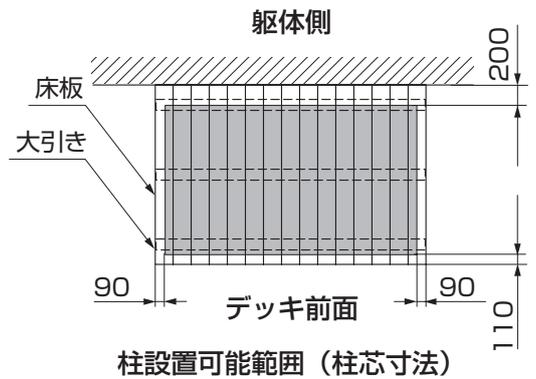


図4-20

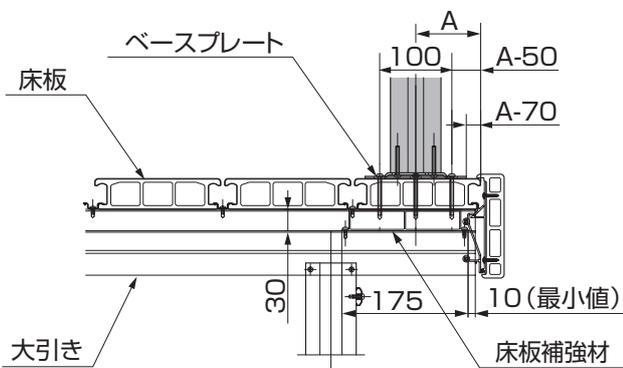


図4-21

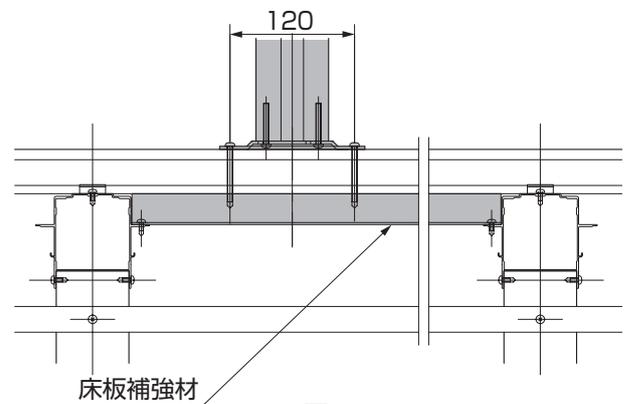


図4-22

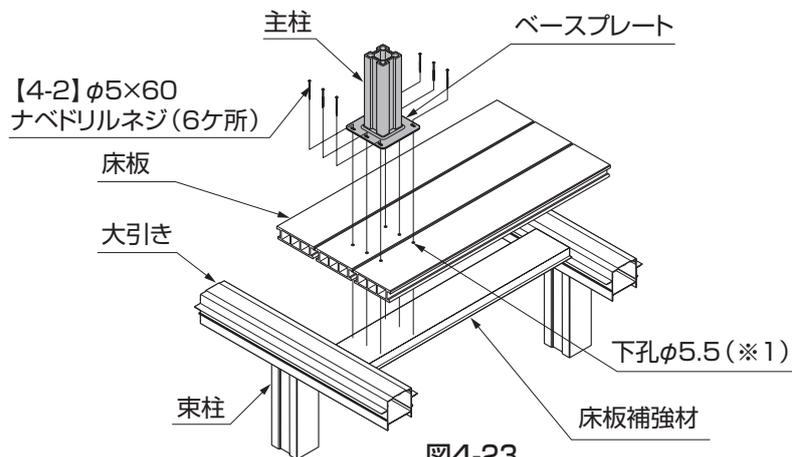


図4-23

①柱の固定位置を決めてください。

#### ポイント

- デッキ施工前に補強材を取り付けてください。
- デッキに図4-19、図4-20、図4-21、図4-22を参照して取付けてください。
- 図4-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

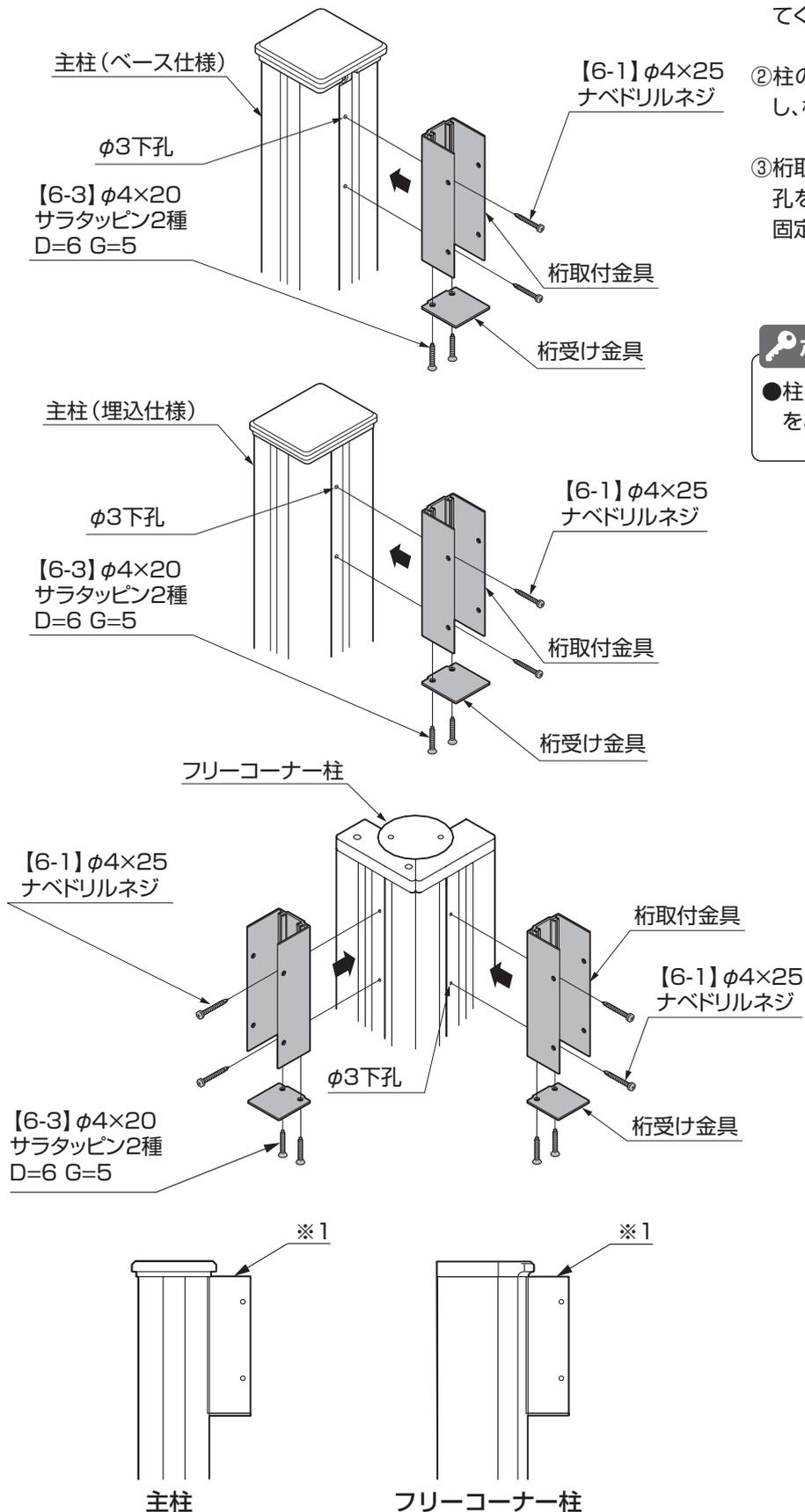
②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

## 5. 桁取付金具の取付け

### 5-1 柱への取付け



① 桁受け金具を桁取付金具に【6-3】で固定してください。

② 柱の使用部位と方向および桁の方向を確認し、桁取付金具を組付けてください。

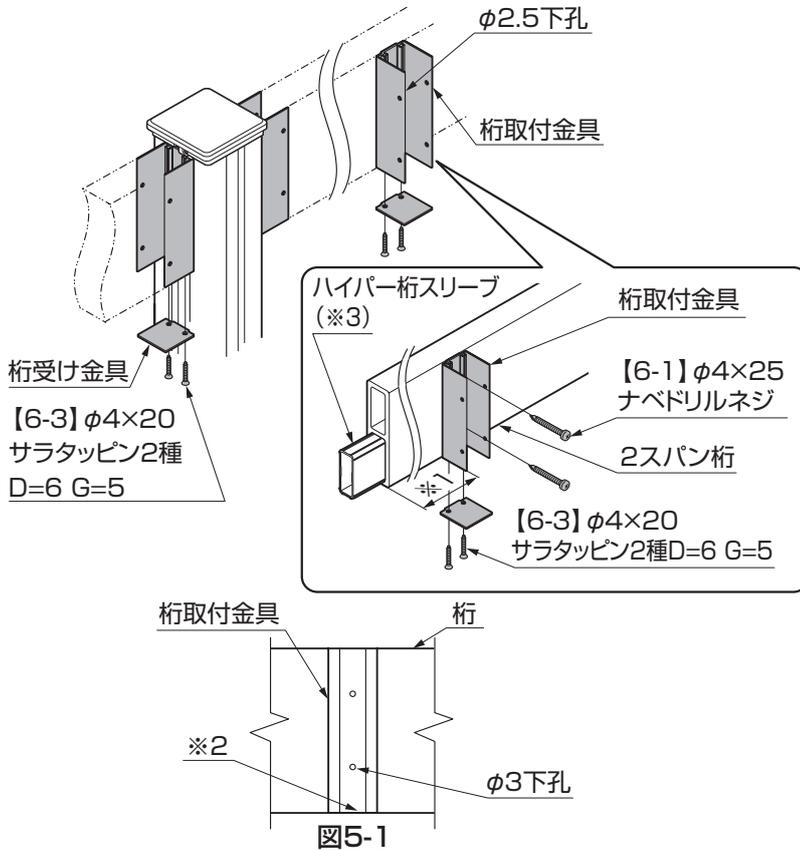
③ 桁取付金具のネジ孔にそって主柱にφ3の下孔をあけて、桁取付金具を主柱に【6-1】で固定してください。

#### ポイント

● 柱キャップの下端部と桁取付金具の上面をあわせてください。(※1)

## 5. つづき

### 5-2 2スパン桁への取付け

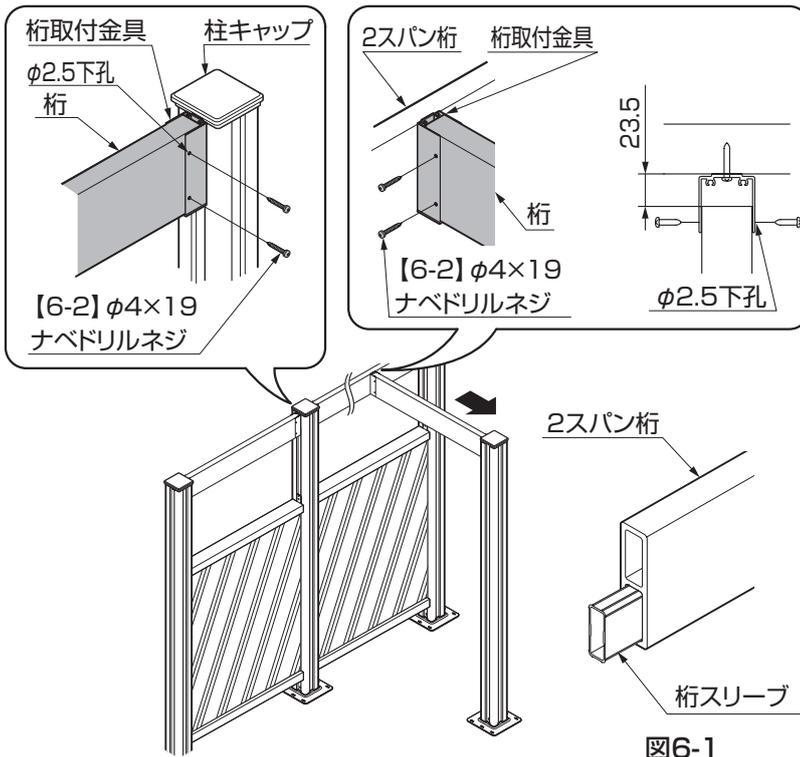


- ① 2スパン桁に桁取付金具を取付ける場合、桁ピッチを確認してください。(※1)
- ② 桁の下面と桁取付金具の下面を合わせて桁にφ3の下孔をあけてください。(※2) (図5-1参照)
- ③ 桁取付金具を【6-1】で固定してください。
- ④ 桁受け金具を桁取付金具に【6-3】で固定してください。

#### 補足

- 2スパン桁の下側ホロー部には、桁スリーブが入っています。(※3)詳細は、「6. 桁の組付け」をご覧ください。

## 6. 桁の組付け

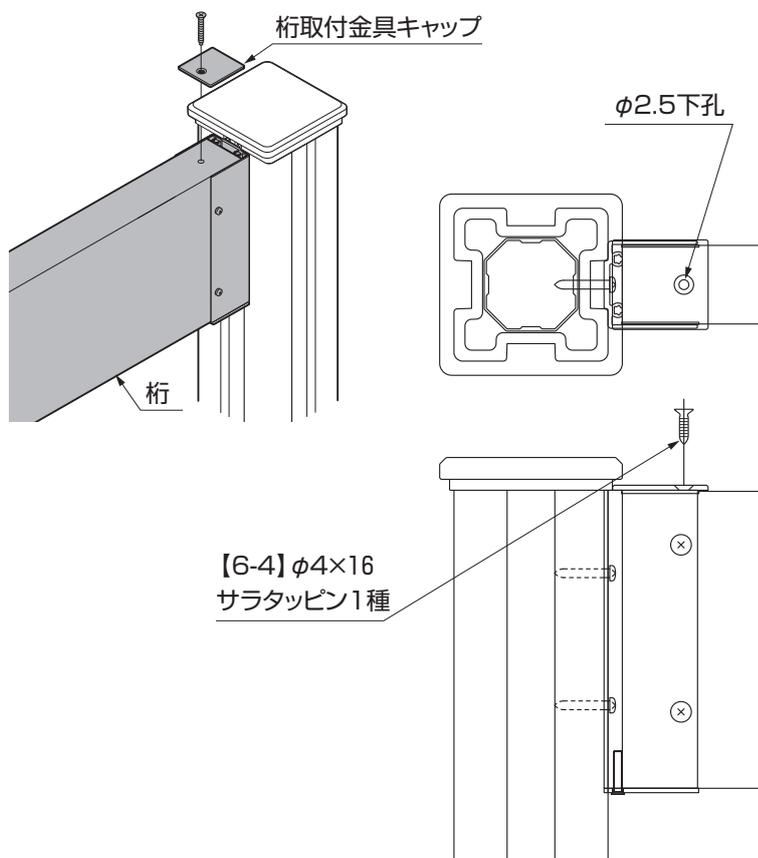


- ① 桁取付金具にはめ込み、ネジ位置にφ2.5の下孔をあけて、【6-2】で固定してください。
- ② 2スパン桁側に桁を取付ける場合、柱側に桁を突き当ててください。
- ③ この際、桁側に約23.5mmのすきまが出来ますが、この状態でネジ位置にφ2.5の下孔をあけて【6-2】で固定してください。

#### ポイント

- 2スパン桁の場合、ホロー部の1つに桁スリーブを挿入し、スリーブを挿入した側を下にして桁取付金具にはめ込んでください。(図6-1参照)
- 長さ調整が必要な場合は、現場で切断してください。

## 7. 桁連結金具の取付け



① 桁取付金具キャップを、柱キャップに突き当てて、桁に取付けてください。

② 桁取付金具キャップのネジ位置にそって、φ2.5の下孔をあけてください。  
(図7-1参照)

③ 桁取付金具キャップを桁に【6-4】で固定してください。

### ポイント

- 2スパン桁に取付けた桁取付金具に固定する場合、桁取付金具キャップを桁側に突き当ててください。(図7-2参照)

図7-1

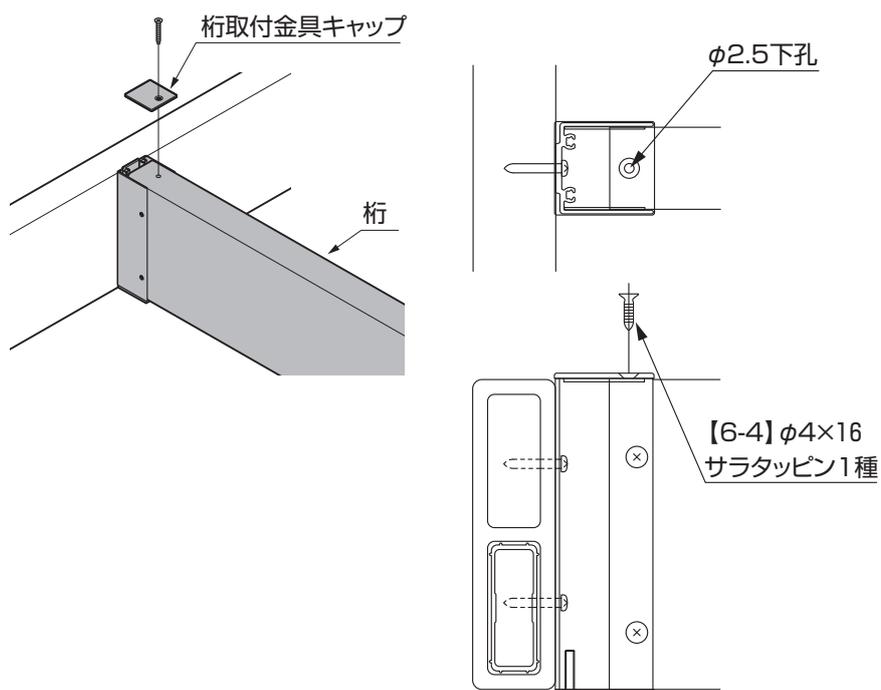
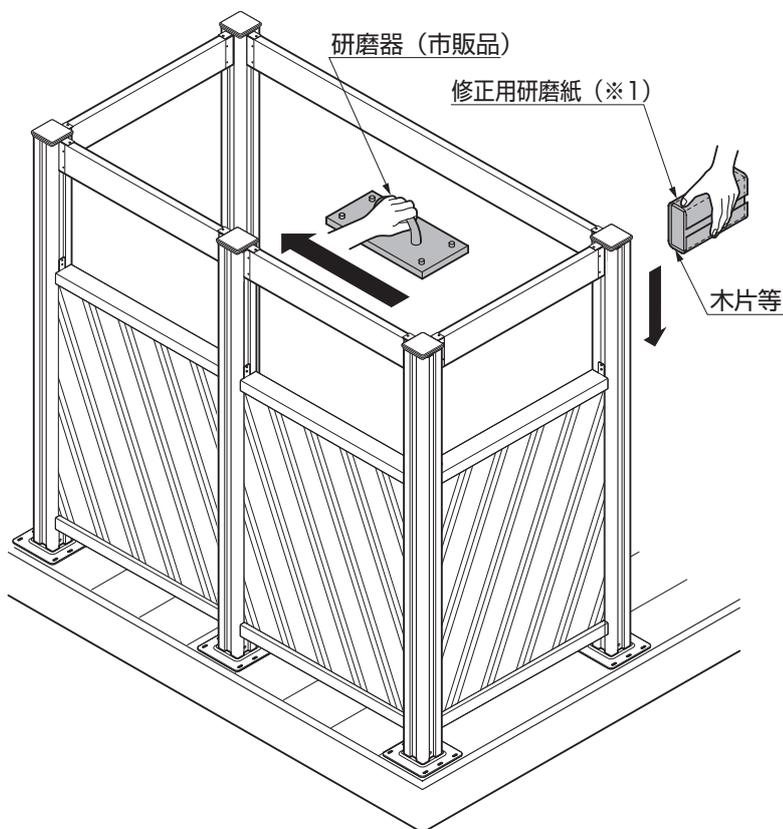


図7-2

## 8. 施工後の仕上げ



### ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 製品お引き渡しの際は、お客様に修正用研磨紙による補修方法について説明をしてください。

### 補足

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)を使うときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

取説コード

**E206**

JWZ612476F  
200603A\_1041  
201210G\_1041